



# ますます充実するフルテック NCF Boosterシリーズ 最新モデルNCF Booster-Brace 使いこなしレポート

**Profile** : コネクター／ケーブルホルダーとして好評のフルテックNCF Boosterシリーズに、また有力な新製品が加わった。電源プラグ周りに装着する「NCF Booster-Brace」である。これまでサポートしきれなかった場所にNCF効果を導入し、クオリティアップできる期待のアイテムだ。シリーズ3モデルを自宅へ導入し、オプションを含めた応用も提案している角田郁雄氏が、本アイテムの劇的ともいべき効果と使いこなしをレポートする。

## FURUTECH NCF Booster-Brace

¥19,800 (税別)  
コネクター／ケーブルホルダー

Text by  
角田郁雄  
Ikuo Tsunoda

Main Photo by 田代法生



### Specifications

●構造: マルチマテリアルハイブリッド ●本体: NCF調合ナイロン樹脂 (静電効果) ●ハウジング: 特殊アルミ合金プラストおよびアルマイト処理 ●サイズ: 約54W×35H×106Lmm ●質量 (ネット): 約100g ●付属: 特殊粘着両面テープ (強力粘着、残留粘着剥なし) ●取り扱い: フルテック (株)

とにかくNCFは静電除去性能が高く、また巧みな構造と相まって、微細振動までも低減してくれる不思議な特殊素材である。また、私が正直なところ不満に思っていた「電源プラグやXLRキヤノンプラグのぐらつき」を解消し、接点の安定化 (非常に大切なポイントである) も実現できることに

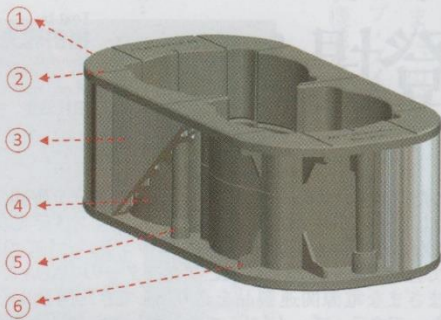
ステージが左右のみならず上方へも拡大して  
生演奏ではないかと思うほどの臨場感が再現された

●NCF Boosterシリーズの魅力  
幅広い場所に应用到きて  
優れた音の効果を聴かせる

フルテックは、コネクター／ケーブルホルダーとして、NCF Boosterシリーズを展開している。現在はNCF Booster、NCF Booster Signal、NCF Booster Signal Lの3種類となり、シリーズが増えるに従って応用度や設置対応性が高まり、NCF Booster Signal Lでは、ついに機器のインシュレーター役まで果たすに至っている。その進化と同時に、これらのNCF Boosterの各アイテムは日本ばかりではなく、世界中で高い評価を受け、多くの愛好家やメーカーにも使用されるほどとなった。私も早々に着目し、これらの3シリーズのアイテムを使用しているところである。

# BEST HiFi Accessory

2019 AUTUMN



## NCF Booster-Braceの構造図

- ① 本体はNCF調合ナイロン樹脂(静電効果)
- ② 表面振動を抑える防振溝
- ③ ハウジングは特殊なアルミ合金ブラストおよびアルマイト処理。内部は入り組んだ構造で音質向上効果を持つ
- ④ 半密閉型の空気室……振動に対して内部の空気圧が抵抗となる
- ⑤ 振動伝達 NCF調合 柱構造
- ⑥ 振動抑制壁(NCF調合 制振壁)……共振を避ける構造



NCF Booster-Braceを壁の電源コンセント部に装着した例。本体裏側には固定用の強力粘着テープが付属する。



電源ボックスに使用した例。貼りつけずに装着するだけでも効果がある。



使いこなし応用として、機器の電源入力端子部に使っても効果がある。



NCF Booster-Braceの下に、さらにNCF Booster-Signal-L(¥14,800、税別)を入れてしっかりと支持した例。

一度、ショップで試して欲しい。

er・Signal、NCF Booster・Signal、NCF Booster・Signal-Lが設置できないプリアンプやSACDプレーヤーの、リアの電源コネクタ部でも効果を発揮した。まさに画期的な音質改善アイテムである。

なお本製品は、NCF Booster・Signal、NCF Booster・Signal-Lが設置できないプリアンプやSACDプレーヤーの、リアの電源コネクタ部でも効果を発揮した。まさに画期的な音質改善アイテムである。

● NCF Booster・Braceとは  
電源プラグ部を包み込んで有害な要素を防御排除する

こうした中で、私に、またしても朗報が届いた。フルテックは最新作、NCF Booster・Braceを発売したのである。読

者も写真でご覧のとおり、本アイテムは、電源プラグを2式、いっぺんにカバーすることが特徴である。実は私も、この方式を思い浮かべていた。それが発売されたので、凄く嬉しいのである。

注目されることは、その構造である。外観のボディ(ハウジング)はアルミ合金製で、ブラスト及びアルマイト処理されている。その内側には、電源プラグを収容できる形状のNCF調合ナイロン樹脂を使用。この内側の表面振動までも排除するために、細かい防振溝までも施されている。本製品の内部構造は、実に複雑である。振動、共振を排除するために、柱、壁、半密閉型の空気室を設けている。同社はいずれの製品を開発する時にも緻密な測定を行っているが、

本製品においても測定を繰り返してこの複雑な内部構造とし、振動と共振の低減を実現しているのである。

以上が主な技術内容だが、私ももうひとつ、読者に注目して欲しいポイントがある。それは、外観ハウジングにアルミ合金を使用していることである。ご存知のとおり現在の電源ケーブルは、電磁波低減のため、3芯シールドケーブルが主流となっている。しかし電源プラグやコネクタは、プラスチック樹脂が多い。したがって、コネクタの部分でシールド特性が低くなり、あまくなるのである。私はこの点が気に入らないのであるが、本製品を使えば、アルミ合金とNCF素材の効果によって、シールド性も高まるのである。

● NCF Booster・Braceの効果  
改善効果は一聴してすぐ体感  
感激するほど生々しく鮮明に

さて、その使用感である。まず、本誌試聴室の電源ボックスで試した(真空管アンプの電源ケーブルの先端)。

驚くのは、一聴しただけでも、音像の輪郭がくつきりとし、音場の透明度が増したことである。私のレファレンスSACDである『グワイエット・ウィンター・ナイト』では特によく把握でき、女性ヴォーカルの声質は生々しくなり、ウエットな質感が鮮明となった。また、ピアノ、ベース、パーカッションの微細な倍音成分が、より豊富になったのである。

自宅では、壁コンセントで最初に試したが、ほぼ同等の効果が発

揮された。次に、パワーアンプ用2連電源ボックスに使用した(フルメスタワーのパワーアンプ、911 Mk3)。感激したことは、前述の特徴に加えて、音の立ち上がりが開放的で、雑味を排したナチュラルな音になったことだ。しかも弱音再現性も高まり、聴感上、S/Nが向上した印象を受けた。おそらく、静電気、振動、電磁波の低減に効果的に作用したからである。素晴らしい効果である。

さらに、dCS Vivid デジタル・プレイバック・システム用の電源ボックスに3式、使用した。これは、本当に大きな変化である。より一層、解像度が高まり、生演奏ではないかと思うほどの臨場感を再現した。しかもステージが左右のみならず、上方へも拡大した印象を受ける。おそらくこの効果は、SACDトランスポート、アップサンプラー、クロックのデジタル機器とDACの、電気的な干渉を分離するかのよう効果が得られたからだと推察している。